

目 次

- 05 特別対談
知的財産分野における研究者と実務家の交流と役割
- 12 イノベーションの軌跡 本藤 幹雄【富士通】
「科学技術計算用演算処理装置の高性能化」の発明
- 16 WIPO国際出願・登録制度を生かそう WIPO日本事務所
- 18 『IPランドスケープを成功へと導く 特許情報分析の進め方』
著者にきく
- 20 知財コソコソ噂話 稲穂 健市
ドメイン名の保護はどうなっているのか？
- 21 聖知巡礼 鶴田 崇
ドラゴン・ソードキーホルダー事件
- 25 特許よもやま話 櫻井 孝
緑綬褒章と発明について(5)
- 29 知的財産権判例ニュース 生田 哲郎、佐野 辰巳
実施可能要件充足性の判断の枠組みに新規性・進歩性の
判断を取り込むべきではないと判示された事例
- 32 少し深読み 特許法 戸次 一夫
進歩性(9)
- 37 知財部さん、いらっしゃ〜い。 川守田 昂
おかげさまで連載200回！ 初期のお悩みを振り返ろう！
- 40 アセアン知財事情 内藤 康彰、久木田 俊
アセアンにおける産業財産権の検索データベースの調査2025(1)
- 42 日本の特許出願が遭遇する欧州の袋小路 山下 耕一郎、生野 敬明
「除くクレーム」とする補正の取り扱いⅡ

- 46 グローバル環境下の日本企業のSEP戦略
——「係争リスク」から「長期の戦略資源」へ
まず外すべき2つの色眼鏡／なぜ今、中国なのか 二又 俊文
- 52 生成AIと知財実務 松岡 和
生成AIで高める知財部門の戦略的価値～技術・知財・事業を結ぶ新たな役割～
- 56 米国特許取得ストラテジーマニュアル 山口 洋一郎
日本で特許が取れて米国で取れなかった事例研究2
- 61 Q and A Patent 廣瀬 文雄
先行技術がある場合に年金を払い続けるか否かの判断
- 62 Q and A Design 大西 佑樹
他人の先登録部分意匠と自己の後登録全体意匠との関係
- 63 Q and A Trade Mark 杜 潔
社名（商号）としての使用と不使用取消審判
- 64 Q and A China 謝 佳艷
中国新商標法の改正ポイント
- 65 読者プレゼント&アンケート

柳 貞次郎

身近なモチーフにアイデアと遊び心を込めて描くクリエイター。
<https://www.sada-art.com/>

今月の表紙：垂直飛行、ホバリング、翼を回して自由自在。



2026年1～12月号の表紙は、20～60年ほど前の本誌記事や全国発明表彰受賞発明等に着想を得て、当時の日本で使われた家電製品、医療機器、農漁具などを描きます。10月号はヘリコプターです。20世紀後半以降、救難、報道、輸送など多様な分野で活躍する存在となりました。現在ではドローンの普及などにより役割が一部変化しつつも、引き続き幅広い分野で活用されています。